

9月9日(水)15:30~17:30/グリーンホール

ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーの開発と一貫性構築の進め方

■講師



小林 直人

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室室長

愛媛大学 医学部 総合医学教育センター長・教授)

昭和 63 年3月東京大学医学部医学科卒、博士(医学)。順天堂大学を経て、平成 10 年より愛媛大学医学部解剖学第一講座助教授、平成 17 年より愛媛大学医学部総合医学教育センター教授。平成 21 年度より教育・学生支援機構 副機構長および教育企画室長を兼任、教育担当理事の下、大学全体のFDをマイクロからマクロまで幅広く担当している。

■プログラム概要

2008 年 3 月に出された『学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)』では、国際通用性を備えた学士課程教育の構築のために「明確な『三つの方針』に貫かれた教学経営」を求めています。つまり、大学の個性・特色は「各機関の学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針」(ディプロマ・ポリシー:DP、カリキュラム・ポリシー:CP、アドミッション・ポリシー:AP に対応)に反映されるものとし、この三つの方針の共通理解の下に教職員が日常の実践に携わり、PDCA サイクルを確立することが重要だとしています。また、大学評価・学位授与機構「大学評価基準(機関別認証評価)」でも、同様の方針の策定と公表が求められています。

今回のセミナーでは、DP・CP・AP の策定と一貫性構築を進めていく業務の実際、想定される問題点、成果を上げるコツ等を、愛媛大学の経験をもとに、シミュレーション・ワークショップ形式で実施いたします。

■本プログラムの到達目標

1. DP・CP・AP の策定とそれらの一貫性構築を進めることの重要性について、政策面を含めて説明することができる。
2. DP・CP・AP の策定とそれらの一貫性構築の進め方について、愛媛大学の事例の良い点を改善すべき点を指摘することができる。
3. 自大学で取り組むべき内容とすぐにできる取り組みを挙げるすることができる。